

「教育振興運動・地域学校協働活動」 市町村担当者研修会

教育振興運動推進プラン(2024~2028)について



令和7年6月5日

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課



■ 教育振興運動

運動の始まりやこれまでの経緯について説明します。

■ 教育振興運動とコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の関連

3つの関係性や位置付けについて説明します。

■ 推進プランについて

昨年度までのプランの成果と課題、新プランの具体的な取組や今後の方向性を説明します。



■ 教育振興運動

運動の始まりやこれまでの経緯について説明します。

■ 教育振興運動とコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の関連

3つの関係性や位置付けについて説明します。

■ 推進プランについて

昨年度までのプランの成果と課題、新プランの具体的な取組や今後の方向性を説明します。

INITIATIVE（積極的に行動を起こす、計画を進める）

教育振興運動

5者の役割と責任を明確にし、相互に連携した取組

- 「子どもたちの持っている能力を十分に開発し発揚させていくことが、岩手なるがゆえにできなかったとしたら・・・」
- 「子どもたちも、父母も、学校も、地域社会も、行政も、人の責任にしないで、自分の責任だと考えて、しかも力を合わせて取組むのでなければ、教育の発展はない・・・」
- 「子どもたちが力を存分に発揮できるだけの体制を作っていかなければならない。五者の責任と連携で・・・」



工藤 巖 氏



令和6年度の状況

R6状況調査結果1.2ページ



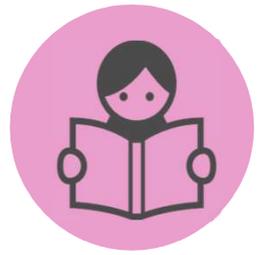
田野畑めぐり（島越地区）
令和6年9月30日（月）



実践区数

R6 : 443地区

R2:500, R3:498, R4:543, R5:535



活動内容

- ・学習活動 : 604地区(読書、学力)
- ・生活・健康 : 554地区
- ・社会参加 : 539地区(奉仕、美化)
- ・情報メディア : 342地区



1 実践区あたりの取組数

8.2

教育振興運動60年のあゆみ

学力向上 S40～

◆学力水準の低迷

「子どもには勉強机を。お土産には本を。」

学習環境の充実と読書活動の推進

5R運動

健全育成・健康安全 S50～

◆青少年の問題行動

挨拶運動や美化運動

体力づくりなどの活動

生涯学習の基礎 H元～

◆地域の特色を生かした体験

・H17「みんなで教振！10か年プロジェクト」

・H21共通課題（家庭学習・読書）

復興教育 H24～

◆東日本大震災津波の発災

H27「みんなで教振！5か年プラン」共通課題（メディアとの上手な付き合い方）

推進5か年プラン R2～

◆地域学校協働活動と総合的かつ一体的に推進

・共通課題「情報メディア・・・」

「CSとの連携による・・・」

教育振興運動推進プラン (2024～2028)

◆「確かな学力」「自尊感情の育成」

・「家庭学習の充実」

・「体験活動の充実」





■ 教育振興運動

運動の始まりやこれまでの経緯について説明します。

■ 教育振興運動とコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の関連

3つの関係性や位置付けについて説明します。

■ 推進プランについて

昨年度までのプランの成果と課題、新プランの具体的な取組や今後の方向性を説明します。

INITIATIVE（積極的に行動を起こす、計画を進める）

教育振興運動

5者の役割と責任を明確にし、相互に連携した取組

- 「子どもたちの持っている能力を十分に開発し発揚させていくことが、岩手なるがゆえにできなかったとしたら・・・」
- 「子どもたちも、父母も、学校も、地域社会も、行政も、人の責任にしないで、自分の責任だと考えて、しかも力を合わせて取組むのでなければ、教育の発展はない・・・」
- 「子どもたちが力を存分に発揮できるだけの体制を作っていかなければならない。五者の責任と連携で・・・」



工藤 巖 氏



COMMITTEE（何かを促進する設定機関、委員会）

コミュニティ・スクール 会議体

学校運営協議会を設置する学校



組織

- 学校と保護者、地域住民等が 協議し、学校のビジョンや目指す子どもの姿を共有する合議制の会議体
- 委員は一定の権限と責任



役割

- 学校運営の基本方針の承認
- 学校運営について、校長に意見
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見
（※教育委員会規則で定める事項について）

ACTION / ACTIVITY (行動、動き、作用、動作)

地域学校協働活動

幅広い**地域住民の参画**を得ながら、**地域と学校**がパートナーとして連携・協働しながら行う**様々な活動**



絵本の読み聞かせ (地域学校協働活動の取組)



登下校の見守り (地域学校協働活動の取組)

フッターを追加

目標 (目指す子どもの姿) を話し合い、**共有**し、連携・協働した取組

• コミュニティ・
スクール

• 教育振興運動

• 地域学校協働活動

会議体:committee

運動:initiative

活動:action/activity

家庭学習の充実

「確かな学力」を
支える学校以外の
学習環境の充実



体験活動の充実

健やかな成長を支
える多様な体験活
動の経験



学校教育

《基本目標》 学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり

社会教育・家庭教育

《目指す姿》

岩手の子どもたちが、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、希望あるいわてを創造する「生きる力」を身に付けている。

《目指す姿》

主体的・協働的な学びを通して、地域や家庭におけるつながりや支え合いが育まれ、県民一人ひとりが、自分らしくいきいきと学び、暮らしている。

コミュニティ・スクール

学校運営協議会を設置する学校。
学校と保護者、地域住民等が協議し、学校のビジョンや目指す子どもの姿を共有する合議制の会議体。(国が推進)
(H29~地教法:努力義務)

【組織】〇〇学校運営協議会など

各教育委員会の規則により権限や人数等を規定。保護者や地域団体の代表者等で組織され、一定の権限と責任を持つ。委員は各教育委員会が任命。身分は特別職の地方公務員。

県内の導入状況(R6.2.20 現在)

●全校種 : 79.7%

▶ 小・中・義務教育学校:79.6%

▶ 高等学校:80.3% ▶ 支援学校:80.0%

重点

◇学校と地域の願い(目指す子ども像)の共有
◇関係者評価による取組の改善・効果確認

取組

- ◆熟議等を取り入れた効果的な協議
- ◆CS ポートフォリオの活用
- ◆全県共通課題の解決も検討

導入・充実を促進

(Community School)

地域とともにある学校づくり

教育振興運動

子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が、それぞれの役割と責任を果たしながら、互いに連携して地域の教育課題を解決するための自主的な実践活動の総称。(本県独自)
(S40~ R6 年度 60周年)

【組織】〇〇教育振興運動推進委員会など

小学校区等で区割りした実践区の5者により組織。市町村等の単位で、推進方針を協議したり実践成果を共有したりするための推進組織がある。

5者の責任(Responsibility)

子 家 学 地 行

重点 (教育振興運動推進プラン 2024~2028)

《全県共通課題》

○家庭学習の充実 ○体験活動の充実

取組

- ◆地域での学習環境・支援体制の整備
- ◆学習支援ボランティアの登録・活用
- ◆地域人材等を活用した体験活動の充実

総合的かつ一体的に推進

地域と学校の連携・協働

地域学校協働活動

地域の高齢者、成人、団体等の幅広い地域住民の参画を得ながら、地域と学校がパートナーとして連携・協働しながら行う(学校支援活動を含む)様々な活動。(国が推進)
(H29~ 社会教育法に規定)

【組織】〇〇地域学校協働本部など

地域団体の関係者やボランティア等の参画を得て組織。地域学校協働活動推進員の配置や組織する際の区割り等は導入する市町村により判断。

5者の責任(Responsibility)

子 家 学 地 行

重点

◇全県共通課題解決や地域の目指す子ども像実現に資する取組の推進
◇子ども・家庭・行政の3者も主体的に参画する活動の展開

取組

- ◆学校運営協議会との緊密な連携
- ◆各種地域人材の発掘と県の登録バンクとの連携・共有

(School Community)

学校を核とした地域づくり

連携

共有

※統合、並行、移行等は、城内の実状に適した望ましい体制を各市町村が総合的に判断。

継続

統合

並行

移行

共有

岩手県「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(R2~6)の取組による成果の継承



■ 教育振興運動

運動の始まりやこれまでの経緯について説明します。

■ 教育振興運動とコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の関連

3つの関係性や位置付けについて説明します。

■ 推進プランについて

昨年度までのプランについて、新プランの具体的な取組や今後の方向性を説明します。

「地域学校協働活動・教育振興運動」全県共通課題（R2～R6）

① 「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組

～拡大を続ける子どもたちの情報メディア利用の現状に対応。令和元年度時点で県内のおよそ3/4の実践区において取り組まれており、多くの市町村が令和2年度以降も取組を継続～

② コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携による、「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動の展開

～今後導入の拡大が見込まれる学校運営協議会制度により、学校・家庭・地域が「目指す子どもの姿」を共有し、地域縦ぐるみで地域学校協働活動・教育振興運動を展開～

地域学校協働活動 ^{※1}

登下校指導、校庭整備、各教科の学習支援、地域の資源回収、地域伝統行事への参加等、地域と学校が相互にパートナーとして子どもたちのために連携・協働して行う様々な活動のことを指します。

地域学校協働活動は、地域と学校が単に一緒に何かをするというのではなく、地域と学校の目標共有に基づき行われる活動です。つまり、「目指す子どもの姿」を共有し、その実現に向けて地域と学校が取り組む活動こそが地域学校協働活動なのです。

5者の目標共有に基づき地域縦ぐるみで取り組む教育振興運動の活動は、全て地域学校協働活動に含まれます。

学校内における活動 (学校運営活動)	学校外における活動 (地域連携活動)
教育課程内 ○フットボール教室 ○学習支援 等	教育課程外 ○図書読み聞かせ ○環境整備 等
教育振興運動 ○親子運動会 ○親子フェスタ ○親子読書会等 ○親子体験活動 等	その他 ○放課後子ども教室 ○放課後児童クラブ ○各種イベント ○各種イベントによる 読み聞かせ活動 ○多様な体験活動 等

(地域学校協働活動と教育振興運動の関係性)

地域学校協働本部

より幅広い地域住民や団体等の参画により緩やかなネットワークを形成しながら、充実した地域学校協働活動を展開していくために、国が奨励する体制です。

本県においては、教育振興運動の推進組織が、この本部のような機能を担っている例もあることから、必ずしもこの本部組織が求められているわけではありませんが、個別の活動から、より総合的かつ持続的な活動へと発展させていくには、①コーディネート機能、②多様な活動、③継続的な活動の3つの視点が重要です。

地域学校協働活動推進員（コーディネーター）
・地域と学校をつなぐ重要な役割を果たします。

I 基本理念

「いわて県民計画 2019-2028」や「岩手県教育振興計画」に基づき、「地域学校協働活動^{※1}」と「教育振興運動^{※2}」を総合的かつ一体的に推進することにより、「学校を核とした地域づくり」や「地域とともにある学校づくり」の実現を図ります。

II 現状と課題

- 本県では、半世紀以上の歴史を持つ教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動などが推進されているものの、地域における人間関係の希薄化や人口減少により、地域が自主的に教育課題を解決することが困難になりつつあることから、地域縦ぐるみで子どもを教え、育てる仕組みの再構築が必要です。
- 家庭の事情等で家庭での学習が困難な子どもや多様な体験を望む子ども等、多くの子どもたちに対して、放課後の居場所づくりなどの充実がさらに求められていることから、地域住民等の協力を得ながら学習支援や体験活動を行う機会の充実を図る必要があります。
- 核家族化に伴い、子育てや家庭教育についての「知恵」や「経験」の継承が十分に行われず、悩みや不安を抱える保護者が増加するなど、家庭の子育て機能が低下してきている傾向にあることから、子育てや家庭教育に取り組む保護者等を支援する取組が必要です。

III 県教委の取組の方向性

- 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり
 - 「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を実現するため、国の動向を踏まえながら、教育振興運動と連携したコミュニティ・スクール^{※3}の推進などを通して、地域学校協働活動の充実等に取り組めます。
 - 地域学校協働活動を持続的な取組とするため、市町村における地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置を支援します。
- 豊かな体験活動の充実
 - 子どもたちに放課後の学習の場を提供するため、日常的に児童生徒が利用する放課後子供教室や放課後児童クラブ等による放課後の居場所づくり、教育振興運動等による多様な体験活動に取り組めます。
 - 児童生徒が多くの本に触れ、読むことの楽しさを実感できる読書活動や、読書ボランティアと連携した読み聞かせなどに取り組めます。
- 家庭教育を支える環境づくりの推進
 - 子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーター等の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施します。

計画期間中（R2～R6）の目標値

現状値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6
6	11	25	33	33	33

現状値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6
63.9	60.0	80.0	100	100	100

現状値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6
小 46	47	48	50	52	54
中 39	46	48	51	54	57
高 41	44	48	52	56	60

現状値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6
小 46	47	48	50	52	54
中 39	46	48	51	54	57
高 41	44	48	52	56	60

現状値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6
4,408	4,684	4,914	5,144	5,374	5,604

現状値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6
623	550	575	600	625	650

教育振興運動 ^{※2}

学区区や公民館区などの実践区において、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題を解決するために自主的に行われている、本県独自の実践活動です。

平成27年度からは「みんなで教鞭！5か年プラン」に取り組み、全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」と地域の教育課題の解決に向けて、両者の取り組みを有機的に連動させながら推進してきました。

「情報メディアとの上手な付き合い方」については、拡大を続ける子どもたちの情報メディア利用の現状に鑑み、新5か年プランにおいても引き続き全県共通課題として取り組むことを提唱します。
【全県共通課題①】



コミュニティ・スクール ^{※3}

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。

学校運営協議会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」に基づき、学校運営に関することについて広い関係者で協議し、学校運営に保護者や地域住民の声を積極的に生かし、学校が地域と一体となって特色ある学校づくりを進める学校の体制です。

学校運営協議会で協議された「目指す子どもの姿」を学校・家庭・地域が共有するとともに、その実現に向けて、地域縦ぐるみで地域学校協働活動・教育振興運動を展開します。
【全県共通課題②】



全県共通課題

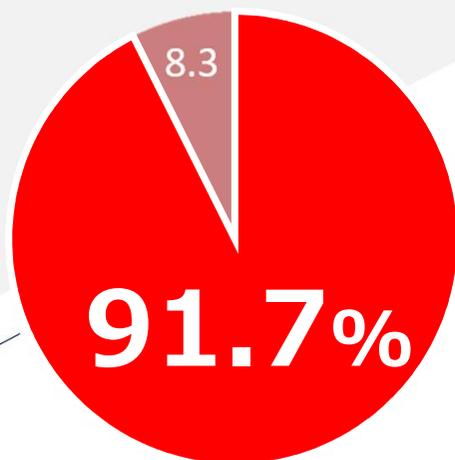
「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）
との連携による、「目指す子どもの姿」の共有に
基づく運動の展開

「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組

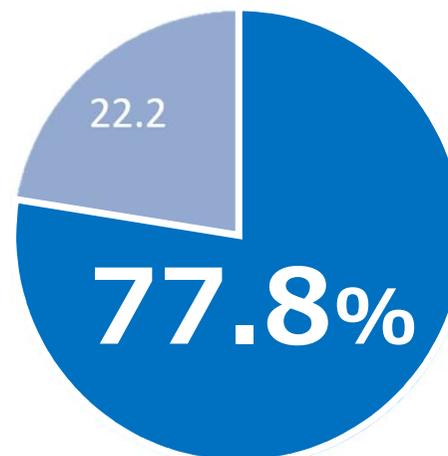
実践区における取組割合…**78.1%**

取組状況



よく推進・おおむね推進

取組の成果



おおむね満足・成果上げつつある



「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(R2~R6)

全県共通課題「メディアとの上手な付き合い方」実践事例

北上市まちづくり部生涯学習文化課

出前講座を活用した「情報メディアとの上手な付き合い方」の推進

市内で子どものゲーム依存、不登校が問題となっている中、「情報モラル」、「情報メディアとの上手な付き合い方」に関する講座を行うことで、親子でゲームやスマートフォンとの付き合い方を考えたり、ルール化につなげる機会を創出することを目的とし実施

【開催校 4校（小学校3校、中学校1校）】

【参加者（総数）】

・小学校（3校） 児童：149名、保護者158名

・中学校（1校） 生徒545名

【取組内容】

- (1) 実施方法
市内各小中学校ですでに実施している「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組みを補完するものとして、依頼があった小中学校に対して講座を開催
- (2) 実施時期
令和6年11月～令和7年3月
- (3) 対象
 - ① 市内幼保・認定こども園の関係者
 - ② 市内全小・中学校の児童生徒、保護者
- (4) 講座内容
 - ① 情報モラル学習サポート
 - ② 上手なゲーム（ネット）との付き合い方
- (5) アンケート調査
 - ① 講座実施後の意識調査（1回目）
 - ② 2か月後の意識調査（2回目）



【成果】

親子で講座を受講したことで、共通理解が図られ、情報との付き合い方やゲーム、インターネットのルール化への意識が高まった。

【課題や今後の展開】

「メディアとの上手な付き合い方」への取組みは、なるべく低年齢から取り組んでいくことが必要であることから、引き続き、市内全域に必要性を周知し、継続して出前講座を活用した取組みを実施していく。

「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(R2~R6)

全県共通課題「メディアとの上手な付き合い方」実践事例

花巻市 花巻北小中校区

花巻北小中校区教育振興協議会

親子で考えよう！スマホ・ゲームとのつきあい方

児童生徒のスマートフォン等の使用率の上昇やゲーム時間の長さなどから起こる「ネット依存」・「ゲーム依存」が社会問題となっていることから、家庭内での使用ルールの定着や『「情報モラル」標語コンクール』の開催による課題の意識づけを行った。

花巻北小中校区（桜台小・花巻北中）の児童生徒及び保護者等

花巻北小中校区教育振興協議会

【取組内容】

親子で考えよう！「スマホ・ゲーム」とのつきあい方

花巻北小中校区学校運営協議会（桜台小・花巻北中による小中連携による取組）

花北スタンダード — 親子で考えよう！「スマホ・ゲーム」とのつきあい方 —

規則正しい生活（早寝・早起き）、家庭学習の時間を確保するため、学習以外で活用する「スマホ」「ゲーム」等の使用についての約束を親子で話し合ってください！【この用紙は、居間・リビング等、家族みんなが見ることができる場所に置いておきましょう！】

< わが家の約束 >

① () 時以降は、右の枠の中に置き、使わないようにします。(自分の部屋に持ち込みません)

② 1日の使用時間を決めましょう。
平日：() 分以内にします。
休日：() 分以内にします。

③ ①②の約束が守られなかった場合の約束

児童生徒氏名 _____ 保護者氏名 _____

「スマホ・携帯ゲーム」は、ここに置いておきます。

令和3年度から、ノーメディアウィークの取組として各家庭に配布

「情報モラル」コンクールの開催

花巻北小中校区 教育振興協議会

令和6年度 桜台小学校・花巻北中学校 「情報モラル」標語コンクール

生活に密着している「デジタル機器（スマホ・タブレット・ゲーム機）」ですが、一方で「ゲーム障害」や「ネット依存」の児童生徒の増加、SNSへの誹謗中傷・いじめの書き込みが社会問題となっています。

花巻北小中校区では、「親子のルール」や「ノーメディア取り組み」にあたる等、地域をあげて取り組んでおり、今般（12月）は児童（小4～6）・生徒及び保護者の皆さんから標語を募集します。

●入賞者は協議会主催の教育実践活動推進大会で表彰
令和6年度 最優秀賞

- ★スマホはね ルールやぶると 依存症（小学生の部）
- ★SNS 一歩間違え SOS（中学生の部）
- ★手をとめて 心で復唱 文字を打つ（保護者の部）

【成果】

家庭内におけるスマートフォンやゲームの使用ルールの親子で話し合い決めること、また、決めたルールを家族みんなが見ることができる場所に貼ることで、ノーメディア・ウィーク（中学校のテスト期間中）に限らず定期的な振り返りを促すことができ、より効果的な意識づけになった。

【課題や今後の展開】

今後も取組を継続し、家庭でのルール作り・情報モラルの定着を図りたい。

「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(R2~R6)

全県共通課題「メディアとの上手な付き合い方」実践事例

葛巻町／教育委員会事務局

子どもたちをSNS・インターネット犯罪から守るために

スマートフォン、PCの所持率の増加に加え、町内公共施設等のフリーWi-Fiを利用する子どもたちが増加。思いがけないトラブルが発生している背景を受け、強制的に規制するのではなく、保護者や大人も安全性や危険性について学び、子どもたちの自主性を尊重しながら個人や各家庭に適したルール作りをするもの。

対象：小中学生(234人)と保護者

子どもたちを取り巻く環境の整備



※写真は放課後の居場所として子どもたちが集まる複合庁舎「まなべ〜す」の表示

・ 青少年育成ネットワーク運営委員会議

(情報モラルを題材に講演会)

・ 公民館図書室にWi-Fiの使い方について表示

・ 保護者を対象にチェックシートを配布

(親子でスマホ等の使い方について考えるきっかけづくり)

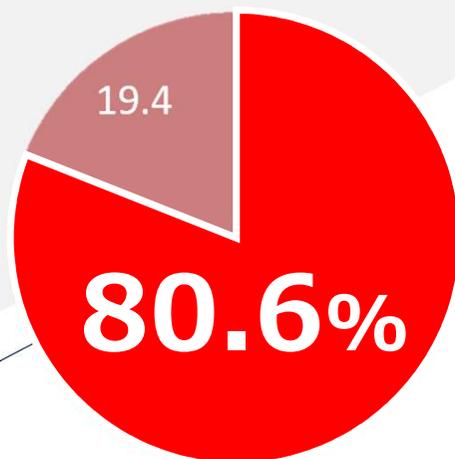
【成果】 研修会を契機に公共施設でのルール作りや親子で考えるきっかけをつかったことで、共通理解と情報の共有が図られた。取り組み以前より、家庭や公共施設でのスマホ利用に改善がみられる状況となった。

【課題や今後の展開】子どもたちが自分で考え自制できる力を育んでいけるように継続的な取組体制を整備していく必要があるほか、今後益々複雑化するインターネット事情について、多角的な視点で学べる機会の創出が重要と考える。

CSとの連携による、「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動の展開

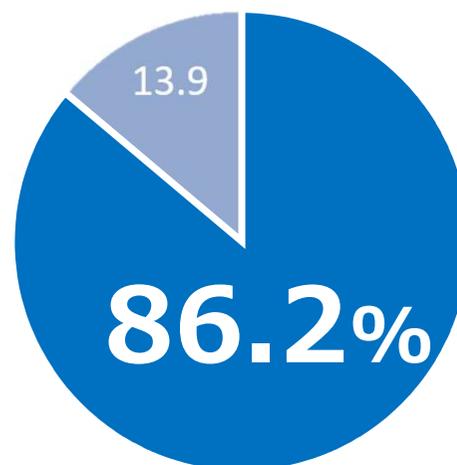
実践区における取組割合…**59.1%**

取組状況



よく推進・おおむね推進

取組の成果



おおむね満足・成果上げつつある



「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(R2~R6)

全県共通課題「コミュニティ・スクールとの連携による『目指す子どもの姿』の共有に基づく運動の展開」実践事例

住田町

「住田町教育振興運動実践協議会」と「世田米地区・有住地区連携推進委員会」の開催

全県共通課題等について情報を共有するとともに、世田米・有住地区に分かれて、各地区の課題や解決策を話し合う場を設けている。

参加者：地区公民館長・主事、各校副校長・PTA会長、保育園長

○町内5つの実践区毎に活動を協議する「住田町教育振興運動実践協議会」と、世田米・有住地区毎に連携して課題解決方法を協議する「世田米地区・有住地区連携推進委員会」を年2回開催。

※全県共通課題等の情報共有もしている。

○各学校のコミュニティスクール（学校運営協議会）の構成員が、上記委員会の構成員を兼ねており、地域の「目指す子どもの姿」と、学校の「目指す子どもの姿」を共有しながら、運動を展開することができる。

【成果】

町、地域、学校の「目指す子どもの姿」を共有して活動を展開できている。

【課題や今後の展開】

コロナ禍以降、地区ごとの連携が以前ほど行われていない。

「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(R2~R6)

全県共通課題「コミュニティ・スクールとの連携による『目指す子どもの姿』の共有に基づく運動の展開」実践事例

田野畑村村内全域

田野畑めぐり

小学校統合後10年以上が経過し、子供達が6つの地域・6つの学校の事が分かりづらくなってきたため、地域を知る、地域とつながることを目的として行ったもの。

参加者：全学年の児童、地域住民、教職員等（240名）

【内容】

漁村ならではの風景を眺めながら、地元ガイドから人々の暮らしや漁法、震災、復興など地域のさまざまな歴史を学んだ。

また、地域めぐり及びはつらつ世代間交流に加え、地域でお弁当を食べ、奉仕活動をして学校に戻る1日コースを実施。なお、昼食の際は、村の食生活改善推進員からの協力のうえ、郷土料理を提供した。

田野畑めぐり（島越地区）

令和6年9月30日（月）



【成果】地域と学校の「ひと・もの・こと」について、多くを学び、世代を超えて触れ合うことが出来た。地域の方々からも好評であり、より地域とつながることが出来た。

【課題や今後の展開】課題は平日開催であるため、学校と地域の調整が多少困難。今後は可能であれば、体験活動も取り入れていきたい。

「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン(令和2年度~令和6年度)

全県共通課題実践事例集

令和7年3月

岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課



「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組

- ▶ 学習のICT活用やタイムマネジメントの視点を加えること
- ▶ 技術進歩に合わせた取組の更新や実状に合わせて継続すること

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携による「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動の展開

- ▶ より多くの地域住民の参画を促す工夫
- ▶ 仕組みを生かした会議体と実践組織の連動した取組

→ コミュニティ・スクールの機能強化と質的向上



教育振興運動とは

- 子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が、それぞれの役割と責任を果たしながら、互いに連携して地域の教育課題の解決に取り組む運動です。
- 1965年の運動開始当初は「学力向上」を目指した取組が行われ、その後「健全育成」をテーマにした取組や、「メディアとの上手な付き合い方」などの全県共通課題の設定のもと、各実践区での取組が行われてきました。



課題設定の背景

- 「令和5年度全国学力・学習状況調査」において、本県の児童生徒の強みもありましたが、**正答率や学習意欲等の課題が見られる状況**でした。また、**不登校の児童生徒数も増加**している状況です。
- 教育振興運動の推進状況について、「学力向上」を課題と捉えている割合・取組が減少しており、各実践区の課題意識や取組に現状との隔たりが見られたため、これらの課題に資する取組を開始するものです。



目指す子どもの姿

- 2つの全県共通課題に対する取組を進めることで…
- いつでもどこでも学べる環境の中で、**学習意欲が向上し、「確かな学力を身に付けていく子ども」**。
 - 多様な体験活動**(自然体験、社会体験、文化的体験、読書、遊び、手芸(い)等)を経験し、「**自尊感情」「外向性」「精神的回復力」「向学的な意識」「肯定的な未来志向**」等が高まる子ども。



家庭学習の充実

- 公民館や図書館等の地域の社会教育施設を活用した**学習の場づくり**を推進することにより、**学習意欲の向上**に資することが期待されます。
 - 学習をサポートする**地域人材の発掘や活用**により、**地域の大人が地域の子どもの育てる意識**を高め、児童生徒の**確かな学力の育成**もつなげられます。
- 本プランにおける「家庭学習」は、自宅で行う学習の他、地域の施設等を活用して行う学習、ボランティア等の支援による学習などを含めた**学校の授業以外での学習全般**を指します。

教育振興運動推進プラン (2024~2028)

全県共通課題
各地域の教育課題、児童生徒の現状に鑑み、全県的な喫緊の教育課題解決に資するため、全県共通課題として掲げ、取組を推進します。

家庭学習の充実

「確かな学力」を支える学校以外の学習環境の充実



体験活動の充実

健やかな成長を支える多様な体験活動の経験



地域の大人が地域の子どもを育てる



体験活動の充実

- 多様な体験活動の経験を通して、上記にあるような「**自尊感情**」等が高まることにより、**不登校の課題の解決**に資することが期待できます。
 - 体験活動をサポートする**地域人材の発掘と活用**を通して、**地域みんなで子どもの育成に関わる意識**を高めることにつながります。
- 文部科学省の調査によって、様々な体験活動を多く行っている子どもほど、「**自尊感情**」や「**向学的な意識**」が高いことが明らかになっています。



課題解決に向けた取組

- 【県教育委員会では】
- 本プランの説明および理解促進(各種会議、フォーラム、啓発活動等)
 - 登録ボランティアの活用促進
- 【市町村及び実践区では(例)】
- 本プランの理解促進と周知啓発
 - 学校運営協議会や社会教育施設等との連携による取組の推進



地域学校協働活動 コミュニティ・スクール

- 地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」と学校運営協議会制度を設置した「コミュニティ・スクール」は、地域の実態に応じて、「教育振興運動」の組織やその理念を**基盤**として、**連携・共有**した仕組みから運動が進められています。



教育振興計画と連動

- 喫緊の課題解決に向けた取組を速やかに進める必要があることに加え、**岩手県教育振興計画(2024~2028)**と**計画期間を一致**させることで、**効果的な取組の推進を図ることが期待**されます。
- 【岩手県教育振興計画(2024~2028)からの抜粋】
- 児童生徒の学習内容の定着と学習意欲の向上のため、自主的かつ計画的な家庭学習の充実に取り組みます。(P25)
 - 教育振興運動と連携した「中・高」学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動を推進します。(P31)



プラン推進の工程

2024	2025	2026	2027	2028
周知啓発、実践促進、取組開始				
	好事例収集・紹介、実践の共有化			
60周年記念大会		実践の充実、改善点の検討・修正		
			実践の評価・まとめ	
岩手県教育振興計画(2024~2028)				



教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合
95.7%

生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数
1,000人

学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合
小:65% 中:59% 高:54%

県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合
97%

放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合
85.0%

学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合
小:87% 中:87% 高:90%

「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合
小:90% 中:85% 高:85%

岩手県教育振興計画の基本目標

学びと絆で **夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり**

岩手の子どもたちに必要な力は…

確かな学力

生きる力

岩手県教育振興計画（2024～2028）との連動による効果的な取組の展開を図る

家庭学習の充実

学校以外の学習環境の
充実により
「確かな学力」を
育むこと



体験活動の充実

多様な体験活動の
経験により
「生きる力」を
育むこと





家庭学習の充実

- 既存施設の活用で学習の場づくりを推進し、学習意欲の向上に資する
- 地域の大人が地域の子どもを育てる意識を高め、児童生徒の確かな学力の育成
- 本プランにおける「家庭学習」は、学校の授業以外での学習全般

課題解決に向けた 県の取組（例）

- 推進プランの**説明**及び**理解促進**
- **登録ボランティア**の募集・登録・活用促進
- 各実践区における**好事例**の収集と共有
- 社会教育施設の連携促進及び実施事業の**情報提供**
- 地域と学校の連携・協働を推進する**研修**の実施
- etc

課題解決に向けた 市町村及び実践区の取組（例）

- 全県共通課題の**理解促進**と関係者への**周知啓発**
- 学校教育と社会教育関係**部局間の連携**
- CSとの連携による「**目指す子どもの姿**」の共有
- 地域の**人材活用**による学習・体験活動の支援
- 既存の施設や放課後子供教室における学習スペースの創設及び開放
- etc



体験活動の充実

- 「自尊感情」等が高め、不登校の課題の解決に資する
- 地域人材の発掘と活用を通して、地域みんなで子どもの育成に関わる意識を高める
- 体験活動を多く行っている子どもほど、「自尊感情」、「向学的な意識」が高い

課題解決に向けた 県の取組（例）

- 推進プランの**説明**及び**理解促進**
- **登録ボランティア**の募集・登録・活用促進
- 各実践区における**好事例**の収集と共有
- 社会教育施設の連携促進及び実施事業の**情報提供**
- 県立社会教育施設における体験活動事業、**プログラムの一層の充実**
- etc

課題解決に向けた 市町村及び実践区の取組（例）

- 全県共通課題の**理解促進**と関係者への**周知啓発**
- 学校教育と社会教育関係**部局間の連携**
- 地域の**人材活用**による学習・体験活動の支援
- 公民館事業等における子ども達の体験事業の強化や創設
- 公民館、地区センター等の地域施設、放課後子供教室の利用促進
- etc

2024 2025 2026 2027 2028

周知啓発、実態把握、取組奨励

好事例収集・紹介、実践の共有化

実践の充実、改善点の検討・修正

実践の評価・まとめ

■ 推進プランの周知啓発、実態把握、取組奨励

- ☞ 生涯学習推進センター、教育事務所による研修会
- ☞ まなびネットいわてによる「体験活動ボランティア」の周知

■ 好事例収集と紹介、実践の共有化

- ☞ 全県共通課題実践事例集

教振60th

Education Promotion Initiative since 1965

きょういくしんこううんどう ちいきがっこうきょうどうかつどう
教育振興運動・地域学校協働活動

教振標語 コンテスト

地域のお祭り わたしおつなぐよ 伝統のイベント (例)

毎年も読めるよ みんなで読みたい本 (例)



家庭学習が楽しくなるよ 毎日の学習が楽しくなるよ (例)

おうぼしめきり
応募締切
12/15
(日)

テーマ：家庭学習のこと・体験活動のこと / 教育振興運動・地域学校協働活動の充実や推進

- 👑 **最優秀賞** (各1名：小中学生の部、一般の部(高校生以上)) 賞状、副賞 (県産品等)
- 👑 **優秀賞** (各1名：小中学生の部、一般の部(高校生以上)) 賞状、副賞 (県産品等)
- 👑 **教ちゃん振ちゃん賞** (若干名) 賞状、記念品



2次元コードから応募できます



小中学生の部	氏名	学校名	標語
最優秀賞	鈴木 龍海十 <small>すずき りゅうと</small>	大船渡市立 末崎小学校	実体験 興味のとびら 無限大
優秀賞	岡部 親芽 <small>おかべ なるめ</small>	盛岡市立 津志田小学校	できたがうれしい できればじしん まなびのじかん
教ちゃん 振ちゃん賞	菅野 結芽 <small>かんの ゆめ</small>	盛岡市立 城北小学校	お母さんの丸 見れば見るほど がんばれる
	大蔦 明咲 <small>おおつた めい</small>	盛岡市立 仙北小学校	可能性は無限大 家庭学習は夢への 貯金箱
	斎藤 健太 <small>さいとう けんた</small>	奥州市立 前沢中学校	楽しもう 学んで広がる 世界観
	高橋 璃空 <small>たかはし りく</small>	北上市立 和賀西中学校	社会体験学習 地域を知って 大好きに
	大向 夏帆 <small>おおむかい かほ</small>	久慈市立 小袖小学校	いそたいけん まてまてカニさん とどかない
一般の部	氏名	学校名 (実践区名)	標語
最優秀賞	千葉 歩 <small>ちば あゆむ</small>	盛岡第II地区	「子供の笑顔」 繋げる力は「地域」の中に！
優秀賞	菅原 喜弘 <small>すがわら のぶひろ</small>	盛岡市	地域の力 伸びる子の夢 みんなでささえる あふれる笑顔
教ちゃん 振ちゃん賞	神道 あずさ <small>しんどう</small>	宮古市立 新里小学校	見て、聞いて、触って、感じて 新たな発見 親子と一緒に



学びと体験

学習

体験

「教育振興運動・地域学校協働活動」 市町村担当者研修会

「教振標語コンテスト」

小中学生の部・最優秀賞 「実体験 興味のとびら 無限大」

一般の部・最優秀賞 「子供の笑顔」 繋げる力は「地域」の中に！



ご清聴ありがとうございました

令和7年6月5日

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

